

令和4年度 学校教育方針

京都市立山科中学校

◎学校教育目標

『「生きる力」を身につけ、心と知性ある豊かな人間を育成する』
山科の心 ～折れない心、熱い心、優しい心～

1 学校経営方針

- (1) あらゆる学校教育活動において生徒の命を守り切る教育実践に徹する。～いのち～
- (2) 人権尊重を基本に如何なる教育活動にも最善を尽くし、活気と笑顔に満ちあふれた安全で安心な学校風土を意図的に創り出すことに努める。
- (3) 生徒個々の多様性を理解し、個性伸長に努め、誰一人取り残さない教育活動を進める。～よりそい～
- (4) 教職員としての職責を自覚し、組織的な指導体制を構築することにより、生徒が安心して学べる学校風土を創る。～つゝめ～
- (5) 心の教育を充実させ、あらゆる場面で豊かな心と規範意識・自尊感情を育てる。
- (6) 「いじめは絶対に許さない」理念のもと、教職員総体でいじめ根絶に向けた教育実践に努める。
- (7) カリキュラム・マネジメントの視点をもって9年間の小中一貫教育を推進し、学習指導要領が目指す確かな学力の定着を系統的に推進する。～ひろがり～ ～つながり～
- (8) 調和のとれた生活習慣を身につけさせ、生徒の心身の健やかな成長と健康の保持増進、体力の向上に努める。
- (9) 地域の学校としての使命と期待を理解し、学校と家庭、地域との連携・協働を深め、信頼を受ける学校づくりを進める。

2 目指す生徒像

- (1) 伝統と文化を受け継ぎ、熱い心をもって次代と自らの未来を創造できる生徒
- (2) 様々な学びを生かし、折れない心をもって社会的・職業的な自立が果たせる生徒
- (3) 多様な価値観を認め、他者と共に生き、学び合える優しい心をもって人権文化の担い手となれる生徒
- (4) 自分も他人も、そして地域も大切にできる生徒
- (5) 基本的な生活習慣と規範意識を身につけ、礼儀正しく自らあいさつができる生徒
- (6) 自らが健康保持・増進を心掛け、体力の向上に努めることができる生徒
- (7) 様々な学びを生かし、自分らしい生き方を探求すると共に、社会や地域に貢献できる生徒
- (8) 多様な情報を正しく理解し、適切な判断の下で情報社会を生き抜く生徒

3 目指す教職員像

- (1) 教職員の職責を自覚し、社会的責任と教育公務員としての責務が果たせる教職員
- (2) 自らの姿勢を通して、生徒や保護者、地域と望ましい人間関係が築ける教職員
- (3) 社会の変化を捉えながら、自律的かつ継続的、探究的に学び続ける教職員
- (4) チーム山科の一員として常に妥協することなく、カリキュラム・マネジメントの視点をもって教育活動に励み、生徒と共に感し合える教職員
- (5) 人権教育の視点に立ち、いじめや差別のない学校づくりに努める教職員
- (6) 学習指導要領が求める授業力向上に向け、常に課題意識を持ち、自らの専門性を高める教職員
- (7) 現状に満足することなく常に向上心をもって自己研鑽に努めると共に、働き方改革を理解し、意識改革を進める教職員

4 重点目標

- ・学習指導要領が示す授業の在り方を再確認すると共に「指導と評価の一体化」のさらなる充実に努める。
- ・授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化と基礎的・基本的な学力定着を図る。
- ・あらゆる教育活動を通して自ら学ぶ力と自ら律する力を高める取組を推進する。
- ・道徳教育の充実を図ることにより、自他を大切にする人権尊重の精神と態度の育成に努める。
- ・困りや悩みを抱える生徒一人一人に寄り添い、個々に応じた就学支援・教育支援を組織的に展開する。
- ・コロナ禍の下、計画的な教育活動の実践と緊急的な状況への適切な対応により教育活動の継続に努める。
- ・GIGAスクール構想の下、ICT機器の効果的な活用により生徒との「つながり」を充実させ、生徒一人一人の教育活動を保障する。
- ・生徒個々に応じた望ましい運動習慣の定着と体力向上に向けた環境づくりと実践に努める。